

平成 22 年度日本水産学会東北支部第 1 回幹事会議事録

期日：平成 22 年度 7 月 12 日～20 日

会議の方法：電子メールを用いたメール会議方式による。

参加者：佐藤実（支部長・東北大院農）、池田大介（北里大海洋生命）、伊藤欣吾（青森県産技セ）、伊藤 博（宮城県水技セ）、岩田恵理（いわき明星大学）、岡崎雄二（東北水研）、栗田 豊（東北水研）、後藤友明（岩手県水技セ）、鈴木英勝（石巻専修大理工）、高澤俊秀（山形県水試）、富山 毅（福島水試相馬）、中神正康（東北水研八戸）、水澤寛太（北里大海洋生命）、山田潤一（秋田県農水セ）

事務局：吾妻 行雄、高橋計介、菅野愛美、佐々木浩一、山口敏康、大越和加、横井勇人、伊藤直樹（東北大院農）

議事次第

1. 平成 22～23 年度東北支部評議員の紹介
2. 平成 22～23 年度東北支部事務局（東北大院農）の紹介
3. 議題
 - (1) 平成 22 年度日本水産学会東北支部大会について、平成 22 年 11 月 5 日（金）～6 日（土）に宮城県を幹事として、東北大学農学部 10 番教室にて開催することが提案された。また、11 月 5 日（金）に開催されるミニシンポジウム「外来生物による水産業と生態系への影響」は、酒井敬一氏（宮城水技セ）・大越和加氏（東北大院農）、有元操氏（東北水研）の 3 名をコンビナーとして実施することが提案された。なお、ミニシンポジウム終了後、平成 22 年度日本水産学会東北支部評議員・幹事合同会議を開催する予定である。
4. 報告事項
 - (1) 3 月 28 日、及び 6 月 12 日に開催された平成 22 年度理事会の内容において、東北支部および広く会員に関わる主な内容が報告された。
 - (2) 平成 22 年度事業計画が報告された。
 - (3) 平成 22 年度編集計画が報告された。
 - (4) 平成 22 年度予算が報告された。
 - (5) 支部監事を須藤篤史氏（宮城県農林水産部）とする案が提案された。
 - (6) 日本水産学会東北支部細則の改定が提案された。
 - (7) 「日本水産学会東北支部長賞」細則の改定が提案された。
5. その他
 - (1) ミニシンポジウムの内容について要望が寄せられ、開催地である宮城県幹事の方からコンビナーへ要望を伝えることとなった。
 - (2) 支部大会、ミニシンポジウムの進め方について事務局で申し合わせを作成、11 月の幹事・評議員合同会議にて諮ることとなった。
 - (3) より公益性の高い支部とするため、高校生の支部大会参加について、事務局で検討、見解をまとめることとなった。

以上